



Title	デザイン理論 76号 執筆者紹介/編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2020, 76
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/76938
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者一覧

並木誠士	京都工芸繊維大学 日本美術史
和田積希	京都工芸繊維大学 近代美術史
千代章一郎	島根大学 建築論
多田羅景太	京都工芸繊維大学 工業デザイン
門田園子	お茶の水女子大学 デザイン史
橋本啓子	近畿大学 デザイン史
山本彩	京都工芸繊維大学 グラフィックデザイン
高安啓介	大阪大学 デザイン理論
福本繁樹	染色家

編集委員

三木順子（委員長），高安啓介（副委員長），羽藤広輔，米屋優，吉村典子，伊集院敬行，多田羅景太，山口良臣，竹内幸絵，島先京一

査読

廣瀬緑，近藤存志，野口企由，矢部仁見，伊東徹夫，佐藤博一，伊原久裕，西村美香，岩間香，森仁史，櫛勝彦，橋本啓子

編集責任 編集幹事

高安啓介 佐藤紗良

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大によって、以前から潜んでいた社会の問題が顕在化しており、現在ほどデザインのありかたが問われる時代はないのではないかと思います。意匠学会の雑誌の名称のうちに理論と謳われていますが、テオリアとしての理論があつてこそ、実践への道もひらけてくるのではないのでしょうか。意匠学会についてみますと、学会の5月例会が中止になるなど例年どおりの学会運営ができなくなっていますが、雑誌の編集そのものは皆様のご協力により問題なく進めることができました。以前から、雑誌投稿のオンライン化を進めており、ドイツに滞在している幹事の佐藤さんとも遠隔で作業してきましたので、この状況にも難なく対応できたのだとも思います。今回もまた幹事さんの奮闘に敬意を表したいと思います。

高安記

デザイン理論76号

Journal of the Japan Society of Design, No.76, 2020

発行日：2020年7月31日

発行：意匠学会事務局

京都工芸繊維大学 デザイン建築学系 多田羅景太研究室

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

電話：075-724-7619 | メール：japansocietyofdesign@gmail.com

編集：意匠学会編集委員会

大阪大学大学院文学研究科 美学研究室 高安啓介

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

電話：06-6850-5120 | メール：design.riron@gmail.com

表紙デザイン：楊 寧，伊原久裕

本文組版監修：吉羽一之

印刷：(株)北斗プリント社 | 075-791-6125

Journal of
the Japan Society
of Design

No.76 / 2020

和歌浦図研究

—名所風俗図・試論

並木 誠士

教材としてのガラススライド

—京都高等工芸学校初期における海外デザインの受容

和田 積希

アイリーン・グレイとジャン・バドヴィチの対話篇

—近代における「装飾」の論理

千代 章一郎

キャビネットメーカーズギルド展における家具デザイナーと

キャビネットメーカーの協力関係について

多田羅 景太

アフリカに渡った横浜輸出スカーフ

—UAC (United Africa Company) との関連を中心に

門田 園子

Analysis of the Relationship between Katsuhiko Yamaguchi's Art
and Commercial Interior Design of the 1960s

HASHIMOTO, Keiko

ロンドンの演劇ポスターに見る悲劇の表象とその変遷

—1960年代以降のシェイクスピア悲劇を中心に

山本 彩

良いデザインと評価の問題

高安 啓介

戦後京都における染色芸術の展開

福本 繁樹